

指導方法等の改善計画について 三原市立本郷小学校

1 課題と取組について

本年度の結果について
<p>昨年度の結果では、国語は目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えることや目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題があった。そこで、朝学習の時間に、文章構成をつかませる問題に取り組み、朝会時やゲストティーチャーなどの話を聞く際には、話し手の意図や目的を捉えながら聞かせるとともに、自分の考えと比較させながら聞き、本郷ノートに聞いた内容や自分の考えを主語と述語に注意して書かせる活動を行った。その結果、全国比+2%という結果を出すことができた。算数は、昨年度は、小数の除法の意味について理解することや単位置当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解することに課題があった。そこで、チャレンジタイムや家庭学習などで、小数の除法の計算練習をくり返し行ったり、除法だけではなく、乗法や加法・減法の計算練習も繰り返し行ったりしたが課題が残った。</p> <p>今年度の新たな課題としては、国語は、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があった。算数は、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。</p>



課題克服に向けた重点取組
<p>○全校での取り組みについて 職員全体で研修を開き、結果と課題、これからの取り組みについて共有する。そして、1月の標準学力調査に向けて各学年で昨年度の結果を分析し、2学期から取り組むことを明確にする。</p> <p>○授業改善について 国語では、ドリルタイムや宿題などで、文章の読解や、目的に応じた資料の読み取りができるようなものに取り組んでいく。算数科の学習において、計算の仕方についてその意味を、順序よく筋道立てて説明することができるように、日々の授業の中で書く場や説明する場を取り入れていく。</p>

2 本年度の結果(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)		
結果 (対県比%)	65.0 (+1.2%)	60.0 (-6.6)

3 取組の計画

平成31年度 2学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を行い、全職員で正答率の低い問題を解き、誤答分析を行う。 ・改善計画を使い、弱点である算数科の授業で2学期から取り組むことを共有し、組織的に改善していく。 ・「標準学力調査」に対応した問題を解かせる計画を立てる。 ・1年生からの計算復習問題を全学年ドリルタイムで行い、全児童の誤答を記録。個々の児童の弱点を詳しく把握し、適切な家庭学習やドリルタイムに行う教材選びをすることで弱点を克服する。
<p>【授業改善について】</p> <p>○本郷小学校授業スタイルを教科の内容やねらいに応じて、日々着実に実践していく。そのために学年で指導方法の協議を行っていく。</p> <p>○10月の公開授業研究会において、算数科の授業公開をし、授業スタイルに沿った主体的・対話的で深い学びの実践を問うていき、学んだことを日々生かしていく。</p>
平成31年度 3学期
<p>【全校での取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善計画に基づいて2学期まで取り組んだ内容と、課題を分析し、継続して算数科の授業で3学期から取り組むことを共有する。 ・「標準学力調査」に対応した問題を解かせる計画を立てる。実施後も誤答傾向を分析し、次年度への課題を明らかにしていく。 ・1年生からの計算復習問題を全学年ドリルタイムで行い、全児童の誤答を記録し、個々の児童の弱点を詳しく把握し、家庭学習やドリルタイムに行う教材選びに生かした後、再度同じ問題を行い、成果と残された課題を明らかにし、次年度への積み残しがないように取り組む。
<p>【授業改善について】</p> <p>○本郷小学校授業スタイルを教科の内容やねらいに応じて、日々着実に実践していき、授業研究においては、来年度に向けた授業スタイルの柱を構築していく方向で協議し、方向性を明らかにしていく。</p> <p>○1月に算数科の授業研究を行い、授業スタイルに沿った主体的・対話的で深い学びの実践を問うていき、学んだことを日々生かしていく。</p>

4 次年度の正答率(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	66.0(+2%)	67.0%(+1%)
結果 (対県比%)		

5 取組の振り返り

○効果のあった取組
○改善していく取組